

以下、ふんがの個人的な紹介です。

- 出身：新潟生まれだが、育ちは東京の渋谷で、土浦、California の Cupertino と流れた末、日吉に落ち着く。
- 誕生日：ビルボ バギンズ氏およびフロド バギンズ氏と同じ日。
- 血液型：O 型
- ふんがの日常：

ふんがは以前は完全に夜型で9時過ぎまで起きなかったが、年を取ったためか、やや朝型になった。とはいえ普通の社会人に比べて遅く、8時前、「今日のワンコ」をやっている頃起きる。1限がある場合は「ヤバ」と言って急いで、そうでないときはのんびり朝飯を食べて、歩いて大学に行く。以前は夜ジョギングをやっていたのだが、膝を痛めて走れなくなったため、せめて歩こうと思って、チャリ通学を止めて歩くことにした。18分で研究室に着く。

授業がある日は、真面目にこなし、そうでない日は、研究や雑用をやる。研究は、設計、実装と論文書きに分かれ、ふんがは前者が好きなのだが、後者に割かれる時間が多い。雑用は短時間で済まそうとする余りミスが多く、各方面に迷惑をかけてしまっている。主任になったため、会議や外出も結構多くなり困っている。

昼休みは可能な限り教職員卓球クラブで卓球をやる。ふんがの卓球は無駄が多いのが特徴で、相手が平気な顔をしているのに、汗だくになったあげく負けることが多い。最近、卓球をやっているとそれで充足してしまい、ソフトボールやCSカップのフットサルへの情熱が薄れている。これも年のせいかもしれない。

昼飯は栄養バランスを考えて生協で食べるが、最近、付き合ってくれる学生が少なくなって寂しい思いをしている。

夜まで仕事をする。家に帰る場合もあるが、夜も生協で食べる場合も多い。昼、夜、生協だと流石に飽きるが、選択肢はないので仕方ない。

夜は、研究室の輪講やミーティングをやる場合も多い。ふんが研の輪講は夜やるというのは間違いで、18時—20時に始まることが多く、主として学生の都合に合わせた結果である。夜は雑用を極力やらないことにしているので、研究の大部分は、夜進むことになる。このため、ふんがは、夜外出しなければいけない飲み会や懇親会

等の付き合いを サボることが多いが、本来、酒を飲んで騒ぐのは嫌いではない。夜は 22 時くらいまで研究室に居て、近くのマイバスケットが閉まる前に帰る。帰って軽く筋トレをやって、寝る。最近、深夜のテレビが「スペースダンディ」を除いて不毛なので、1 時間前には寝ることが多い。ちなみに土日は会議や雑用が少ないため、研究室にべたっと居ることが多い。

- ふんがと学会:

ふんがは以前は出不精で学会活動に不熱心だったが、ある時、「このままではいけない。日本のコンピュータ研究コミュニティのために、学生が楽しく建設的な議論ができる研究会、設計コンテスト、国際学会を作って、最終的にトップコンファレンス、トップジャーナルに皆が研究成果を発表できるようにしなければならない」と思い立って、突然熱心に活動するようになった。リコンフィギャラブルシステム研究会、FPGA設計コンテスト相磯杯を立ち上げ、計算機アーキテクチャ研究会、コンピュータシステム研究会の主査、委員長をやって、ICFPTを日本に呼んできて General Chair を勤め、HEART を立ち上げ、CoolChips の Vice Chair、CANDAR、MCSoc、ARC の Steering Committee など、イベント屋と悪口を言われる位になった。ふんがの活動の行きつく先は、国内の査読付きシンポジウムの撲滅、日本語論文誌の二流化などに繋がるため、非難も多い。特に国内最大の査読付きシンポジウム SACSIS の国際学会化に失敗しこれを終了に追い込んだ点は最大のマイナスポイントとっていい。

- ふんがと授業:

ふんがは、春学期に科目が集中してしまっている。特にクォータ制のあおりを食らった第2クォータは、月曜 2 限の電子回路基礎(2 年生)、火曜 1 限のコンピュータアーキテクチャ(3 年生)、木曜は中央大で計算機基礎、金曜 3 限コンピュータアーキテクチャ(3 年生)、4 限は大学院のコンピュータアーキテクチャ特論とひどいことになってしまった。その代わり秋学期は木曜に中央大に行ってから計算機基礎同演習をやれば良く閑になった。オフィスアワーは以前設けていたが、誰も来てくれずに寂しいので廃止した。その代り メールのリスポンスには時間があるので、何かご用があればお気軽にメールを下さいませ。

ふんがは、説教をするのもされるのも嫌いで、他人の生き方や、やり方にとやかく言うのが好きではないので、あまり教員として向いていないのかもしれない。しかし、知識や技術を効率的に伝達するための 教育システムを作るのは好きなので、授業は熱心にやるし、準備にも時間を 懸けるし、休講は嫌いである。